学校番号	1016

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	福祉マインド	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

少子高齢化に伴い、子どもを取り巻く環境も変化しています。こうした社会状況の中で子育て支援や児童福祉サービスの現状について学び、これからの子ども家庭福祉に何が必要かを考えます。また、子どもたちとの交流実習も予定しています。その中で子どもたちの思いを理解し、関係を築く力を養ってほしいと思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
これからの子ども家庭福祉は、少子・高齢化が進行する中、すべての子どもと家庭を対象にした子育ち・子育て支援を重視した施策・実践が求められている。そこで子ども家庭福祉の理念や意義、福祉における子どもの成長・発達と子どもを取り巻く環境の問題，児童福祉サービスのあり方、現行の児童福祉の法体系や実施体制など児童福祉の基礎的な知識を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
子ども家庭福祉の基礎的な知識や技術をさまざまな教材・情報を通して理解する。子育て支援において、親へのアプローチ方法や、支援の方法を考え、その人にあった方法をみつける。
【学びに向かう力、人間性等】
実習やボランティア、聞き取りなどを通して福祉の現実に触れ、知識や技術の向上・定着をめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	少子高齢社会における児童・家庭問題の社会的背景，児童の成長・発達や子どもを取り巻く環境の問題そして児童福祉の理念・意義を理解する。	児童や家庭の問題に関心を持ち、ボランティア等の体験を通して、これからの子ども家庭福祉に何が求められているかを学び、何が必要かを考えさ表現することができる。	児童福祉の歴史的展開について興味・関心を持ち，意欲的に追求する態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	家庭福祉の概要	現代における児童家庭福祉の理念と意義について学ぶ ・児童福祉法の基本原理 ・児童福祉法の対象 ・児童福祉法以外の福祉に関連する主な法律 児童家庭福祉の歴史 ・児童という概念はどのようなものか ・近代以前の日本の児童家庭福祉について概観する ・戦後日本の児童家庭福祉について概観する ・児童の尊厳について ・児童福祉と社会福祉について ・小学生との交流(絵本読み聞かせ)	a: 児童に関する概念や法制度について正しく理解することができる。 b: 児童を保護する制度と歴史について資料や情報を理解し、思考を深めることができる。 幼児期と児童期の区別と福祉との関連について思考を深め適切な知識と技術の基に判断しその過程や結果を適切に表現することができる。 c: 生活と福祉における家族や地域の機能と役割の変化、について関心をもち、探求することができる。	プリント 定期考査	プリント 発表 交流実習	プリント 授業観察 交流実習
2	子育て支援サービス	子育て支援サービス ・子育て支援とは ・子育て支援が目指すもの 現代の家庭を取り巻く状況 ・幼稚園児との交流 ・生活の変化 ・子どもの権利 ・少子化と子どもを取り巻く問題について知る	a:子育て支援サービスと子どもを取り巻く環境について正しい知識・技術が身についている。 子ども達と適切な関わりの中で、良好な関係を築くことができる。 b:子どもを取り巻く環境についてどのようなニーズが必要か思考を深めている。 c:子育て支援サービスと子どもを取り巻く環境について関心を持ち、探求することができる。	プリント 定期考査	プリント 交流実習	プリント 授業観察 交流実習

3	少子化と子どもを取り巻く問題	地域子育て支援センターの子育て支援 ・児童福祉制度について ・実践例からみる地域子育て支援センターの機能 ・子どもとの交流 ・社会福祉協議会見学 子育て支援政策について ・子育て支援サービス	a: 地域子育て支援センターの意義、機能、社会福祉サービスについて正しく理解している。子ども達と適切な関わりの中で、良好な関係を築くことができる。 b: 地域子育て支援センターの社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題について思考を深めることができる。 c: 地域子育て支援センターや子育て支援サービスについて関心を持ち、探求することができる。	プリント 定期考査	プリント 交流実習	プリント 授業観察 交流実習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度